

先端技術を活用した港湾施設の図面・施設台帳の自動生成により、補修工事業務を効率化したい！

課題



- 港湾施設の補修工事業務で使用する図面や施設台帳のデジタル化を進め、D Xのスピードアップを図りたい

【実施イメージ】

- 職員が施設を撮影した動画等を用いて点群データ等を生成
- 生成した点群データをもとに、3 DのC A D等のモデルを自動生成したい
- さらに作成したモデルには、属性情報として材料規格等の施設情報を紐づけし、職員間で施設の形状や規格等を共有したい

背景

- 港湾局が管理している施設には、建設年度が古くデジタル化に対応できていない施設も多い。このため、C A D図面が無い、C A D図面があった場合でも内容が古く情報が更新されていない施設もある
- このため、C A D図面が無い施設で補修工事を行う際は、現場で現地測量を行い、形状や規格等を確認する必要があるほか、発注図面も一から作成する必要があり、作業に多くの時間を要している
- さらに、正確な施設管理図面がないため、点検担当者と工事担当者間で、要補修箇所に関する伝達を行う際にも、位置情報を分かりやすく効率的に伝えることが困難

現場からのコメント



- 港湾局管理の施設の一部を対象に、データ取得やモデルの自動生成を行っていただくことを想定しています
- このため実証開始時には、港湾局の管理施設を半日程度ご見学いただく予定です

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

港湾局
(技術管理課)

計画情報、施設情報及び工事情報等を一元化するシステム開発など、局事業等におけるD X推進に取り組んでいる